

鹿児島1/1

No.	ご意見・ご感想
1	①時間が3:00～と遅いです。もっと早い時間が良かった。②時間が少なかった。もっと聞きたかった。
2	消費者の立場で考えると、言葉がむずかしすぎて理解できないと思う。同じコミュニケを100回やっても消費者の理解は進むとは考えられない。全国で100回やりました、という実績を担保に21ヶ月、20ヶ月の線引きを正当化する目的と思われる。
3	当局の方の説明は詳しく良かったと思います。しかし時間の関係もあり、もう少し要点を絞って頂いた方がよいと思います。その割愛した時間を意見交換会及び出席者のディベートに振り分けて頂きたいと存じます。
4	日本のBSE対策については世界一と考えます。今後も科学的に検討していただきたいと思います。農業についてももっと対策を強化してほしいと思いますのでよろしくお願ひします。輸入肉についても日本と同等の規制をお願いします。
5	米国の牛の月齢がはっきりと管理されていないというのを聞き、びっくりした。あまりに大ざっぱすぎて、輸入再開などを考えられない。検査をしても100%安全とは言えないという方もいたが、検査(全頭)をやめることはしてほしくない。もともとBSEは外から入ったと説明されたが、イギリスで発生したとわかっているなら、なぜ防止を早目に(エサなど)しなかったか、それにつける。このリス・コンが今後役に立ってほしいと思うばかりである。公平に、公正に消費者をあざむかないように。
6	意見交換時間が短い。
7	意見交換で議論の中心となった全頭検査について、月齢による検査が意味があるのかどうか、早く食品安全委員会の結論を出すべきではないか。SRMの除去で十分か、成熟牛は出るはずがない状況を作れるかを、はっきりしてもらえれば安心もできると思う。
8	参加者が少ない。もっと幅広い人が参加できるよう工夫すべき。
9	米国においては十分な飼料規制が行われておらず、感染が拡大しているおそれがある。輸入については十分な検証をすべき。また国内での規制に伴うコストについては、国が十分な助成等をして欲しい。
10	・意見交換の時間が少ない。・立場毎に分けて発言を言う等すべき。発言がゴチャゴチャして分かりにくかった。
11	今後ともリスクコミをお願いします。
12	本日の会に参加してBSE対策について徹底している点について安心感が高まりました。日本のBSEの対策の素晴らしさに敬意を表します。唯徹底的に危険部位の除去の徹底が大切です。
13	会場について—県庁、合同庁舎を利用すべき(コスト削減)。説明が長く、意見交換が短い。
14	BSE発生から国内における対応について基礎知識のある者については理解しやすかったが、一般消費者には、やや専門的な話が難しかったかと思われる。
15	解り易い説明であった。安全性はやはり科学的根拠に基づくべきである。現段階で20月以上とすることは現分析技術では仕方ないと思う。安全を第一に考えればト殺を21ヶ月以上とする方法も良い。また分析技術の進歩で20月以下でも診断可能となればその月以上の検査を行えば良い。安全性は段階的により高めて行くことが基本と考える。
16	BSEについても興味がありましたが、リスクコミュニケーションがどのように行われるのかということにも興味があり、参加させていただきました。今日のお話は、大変勉強になりましたし、今後も更に理解を深めていきたいと思ひます。1つ残念だったのは、一般の消費者の参加が少なかったことです。こういった取り組みに、いかに消費者を巻きこんでいくかが今後の課題ではないでしょうか？
17	生産者、消費者双方がBSEに対する不安感もまだ一部に残っていると考えられるので、引き続き安心、安全な国産牛肉の供給、消費拡大策を検討してほしい。又これ迄も国産牛については消費者も全頭検査により安全性を確信していることから、食品安全委員会の報告を理解するが今後とも引き続き全頭検査をお願いしたい。

宮崎1/1

No.	ご意見・ご感想
1	保健所で食品衛生業務を担当しています。BSE検査対象月令を21ヶ月未満とするとテレビで報道された場面で(検討する)「21ヶ月以下は検査しても無駄(明確な検査結果が得られない)」との内容の報道があった。あの内容では消費者は納得しないものとする。21ヶ月未満を検査対象から外すについては、もう少し違った表現をお願いしたい。
2	消費者は、安全で安価なおいしいお肉を求めています。全頭検査の今後は、更に変化、多用化していくでしょう。MRS・飼料規制にこそ本当に力を入れていただきたい。
3	時間的にももの足りない設定でした。
4	焼肉店として牛肉の安全・安心はSRMの完全除去されることで心配していない。早い時期に米国産牛肉輸入再開するべき。消費者は安くおいしい牛肉を早く食べたいと願っています。
5	・全頭検査は国の義務において継続すべき。・輸入牛も日本と同等の検査とすべき。
6	・アメリカの牛の月齢の化学的根拠が明確に証明されない限り、輸入はすべきでない。
7	会場が狭過ぎた。かなりの市民が関心を持っているということでしょう。
8	すわる場所がなかった。
9	アメリカ産輸入ありきの進め方が気になった。すべてを解明してからの再開が望ましい。今まででてないから～では理解は得られない。GMOと同じ道を進むのでは。
10	参加者が皆座れる様にもう少し広いスペースがあれば良いかと思いました。
11	・今後も食品に対して、私々に安全な物を、提供してほしい！
12	人数分の席がなかった。
13	会場が少し、小さかった。
14	①消費者の不信感を、払拭することが大切である。②20ヶ月令以下の検査で異常ないことの立証検査方法の確立(早期)。例(血液検査等)。
15	・事前申し込みをさせ、参加証を提示して入場する事を求めているのに、会場の席が不足するのは、非常な不手際である。・食品安全対策をする行政職員として、個人的には、監視指導等できる限りの努力をしているが、悪質な業者や、ごまかそうとする生産者、知識や遵法意識の薄い業者を取り締まる毎、制度がある事だけで安全が確保できるとは言えない思いを強くする。BSE対策についても同様の理由で、この会に参加したからといって安心感が高まる事はない。
16	・場所が狭かった(立ちの人が多かった)。
17	食品安全委員会の中間とりまとめの説明に、終始するのではなく米国産の牛肉の輸入についての疑問が多いのであるから、そこらの納得のいく説明を行なうべきではなかったか。意見交換会だけで行なうのは、まずいと思った。日本の個体識別と同等の対応を米国が探るまで輸入は再開すべきでない。また保証については信用ある機関を設けさせるべきである。

那覇1/1

No	ご意見・ご感想
1	死亡牛全頭検査について。沖縄県は離島の死亡牛検査はきびしい。しかし、全頭検査が義務づけられると、集計上、県が手抜きをしているように解釈されると思う。食用の検査が完全に行われているのであれば、死亡牛についてはサーベイランスでいいのではないかなと思う。
2	肉骨粉の輸入阻止の件に関する、行政に対する国民の不安感はまだまだ拭えていません。まやかしの全頭検査もしたり、アメリカから指摘されている日本政府の非科学的…もしたり、もっともっと事実をオープンにしてもらいたい。
3	厚生と農水にわけるのではなく、一ヶ所の機関で議論すべきである。実際に現場等で作業して経験してから意見を言うて！各分野の現状をもっと理解してから講演をしたほうがいい。結局みんな現状を分かっていない。あまり説得力がないように見える。一方的に押しつけるのはどうなの？現場を理解するのが重要！
4	※BSEの全頭検査・SRMの除去による安全性をもっとPRしてほしい(消費者の理解)。※アメリカ産等外国の牛の安全性を日本並にしてから輸入するべきである。
5	食品安全委員会に期待しているひとりです。今日の意見交換会で、マスコミ等でかなり誤解をしている方が大勢いると思います。もっと主婦や一般の人にもわかりやすいような資料等、情報としてひろげていただきたいと思います。
6	事前PRを行ない、一般国民、消費者の参加を多くする工夫をしてもらいたい。せつかくのリスクコミュニケーションが、ごく一部の関係者の集まりになってしまっている。
7	これだけ安全の確立が高いのなら、もしもの責任をおそれずに、政府の責任で自信をもって進めて下さい。逃げ道を作ろうとしているように感じます。
8	このような会を沖縄でもたびたび行ってほしいです(主要都市)。
9	沖縄で牛肉よりも豚肉を食するのが多いので、その点で検査など十分注意してリスク管理していただきたい。
10	国産牛肉の安全性が非常に高いことを、もっと力説してよいのではないかな。
11	もし、20ヶ月齢以下の牛でBSEが見つかったら見直すの？アメリカの牛肉を輸入再開する場合は、食品安全委員会で検討するの？
12	スーパー等で「BSE検査合格証」を貼っている店があるが、BSE感染牛は出荷されないこと、国産牛は安心して購入できることをもっとPRすべきでは。
13	講演者の時間がもう少し取れればよかった。少し短いような気がしました。

大分1/1

No.	ご意見・ご感想
1	20ヶ月以下の検査は、安全性(流通肉の)にはあまり意味を持たないのである意味では無駄ではないか。 また、月齢の確認とSRMの除去の徹底で安全が確保できるので、政府が消費者にはっきり公示すべきではないか。
2	21ヶ月以上のBSE検査を安心安全の目安として理解しアメリカ等の輸入再開を望みます。
3	早くアメリカ産牛肉を輸入してほしい。全頭検査は意味がない。SRMの完全除去でOK。大多数の国民は安い牛肉を望んでいるのでは。
4	せつかくのリスクコミュニケーションであり、出された意見は十分に取り上げ、慎重な検討の上での輸入にしてもらいたい。BSE対策の検討会をばかすため、食品表示関係もテーマに含めたように見える。これではBSEのリスクコミュニケーションとはいえないのではないか。
5	品質価格安定のアメリカ産牛肉が食べたい。美味しくない高価なオーストラリア産・ニュージーランド産は必要ない。
6	アメリカ産牛の早期輸入の再開をしてほしい。今みたいな価格だと美味しい肉をあまり食べられない。
7	アメリカ産牛肉輸入再開について、牛肉の安全・安心は特定危険部位の完全除去こそが科学的にも認められており全頭検査は必要ないと思う。一般消費者はマスコミ等の一部分のかたよった意見をうのみにして本当の話がわかっていないのではないか。日本の中間答申で21ヶ月の牛からしか検査しないということを一般消費者の内どれくらいの人が分かっているのか？なのにマスコミ等でアメリカ産牛肉の話ではアメリカは全頭検査しろとか、それがだめなら20ヶ月以上でまけてやるみたいな話にしか見えないような映像しかやっていない。農水省もマスコミももっと正しい知識を広めてください。トレーサビリティもあることですので輸入牛再開して消費者に選択してもらえれば良いと思う。
8	マスコミは無責任すぎる面があると思う。
9	国、行政は「生産者」よりである。消費者が望んでいるのは安全で安く美味しい肉を食べたいことです。「税」のたれ流しにしか見えない今の生産行政に対する私見です。
10	全頭検査の廃止、アメリカ産牛肉の輸入再開。科学的、国際基準にのっとった安全で安く美味しい牛肉を安心して選んで食べたい。(男・食品関連事業者)・行政はこれをしたではなく、もっと皆さんが何を一番知りたいのか、かいつまんで説明すべきだと思う。BSEで何が心配であるか生産者の立場、消費者の立場でわかりやすく説明していただきたい。「安心だ、安心だ」と叫んでいるように聞こえた。
11	お話を聞き安全性を考えると怖く思っていました。BSEの問題にしても安心できない点がおおいにあります。
12	大分県でと畜場での検査の説明を受けることは出来ませんか。研修の場としていただけませんか。
13	BSE対策について20ヶ月までの牛の検査はする必要がないという説明のようにあった。これはアメリカからの要求に基づいて日本の検査を変えようとしているのではないかと感じてくる。最後の説明で日本と同等の安全性を確保してからと言われてホッとした。
14	〇〇先生のお話がとってもよくわかりました。BSEに対する今の考えがよく理解できました。
15	BSEの問題について資料を頂き講師の先生の説明でかなり参考になりました。
16	BSEのことがよくわかった。
17	BSEに片寄った感あり。
18	BSE対策のことだったので各団体ではなく一般市民で不安に思っている人には、良い内容だったと思う。本間先生のお話はとても良かったです。
19	BSE検査の種類は聞きましたが実際にどのような方法なのかよくわかりません。また、二次試験のウエスタンブロットはどの部位で検査されているのか？そのあたりをもっとくわしく広報してください。
20	アメリカ産の牛肉が出回ってなくて国内の基準(検査)が保障されれば再開と言うことです。オーストラリア産の牛肉がスーパーとかでよく売られています。それについてはどうなのでしょう。もしBSEがでたら後手でアメリカと同じような対策をするのでしょうか。鶏肉に対しても国産と価格に大きな差がありすぎるのですが、外国産はどのような育て方をしているのでしょうか。

前橋1/3

No.	ご意見・ご感想
1	BSE対策に、これからも取り組んでいただきたい。
2	資料をもとに話を進めるだけで、大学の講義ではないので、と思います。今日は主婦として参加しましたので、売り場に出ているものがあれば心配ですが、むしろラーメン屋さんとかキムチ作りなどに流れているのではという疑いがありますが、出ていないという保障は全くないので、それを国や扱う人がどこまで知っているかが問題です。事故が起きなければ手を打たない方法は、不信感をめぐいさげずにいます。
3	20ヶ月以前の牛の検査を実施しない理由、安全性を国民に知らせるのがリスクコミュニケーションであると思います。安全→リスクコミュニケーション→安心。
4	英国でBSEが発見されて20年程前で、まだまだ人間へのリスクが出るのはこれからかと思われます。日本の対策は賛成出来ますが、米国の政治的対策に負けないようにしてほしい(米国のBSE対策は甘いと思う)。肉骨粉の輸入も厳しくして欲しい。
5	21ヶ月令への移行と米国から輸入をからませて、いくら21ヶ月令が正当であったとしても、輸入のための説明に過ぎないと写ってしまう。輸入ありてでなく、すべきであると思います。
6	全頭検査が必要無いと言う意見を、必ず今後の検討項目に取り入れて下さい。
7	全国の農業高校、農業大学校、農業大学向けのBSEに関わる冊子を制作して欲しい。BSEに関する勉強の場がない。これからは生産者に対して積極的な情報を発信して欲しい。農業に安心して就けるような環境を望む。
8	リスク評価機関主催のリスクコミュニケーションとして興味を持って参加しました。リスク評価機関とリスク管理機関(農水、厚労)との立場の違いが、あまり見受けられませんでした。もっと評価機関の独立性を押し出した方が好感が持てます。リスク管理機関と一緒に安心の評価までする必要はありません。もっとがんばってください。
9	リスクコミュニケーションとしての対象として、消費者は何%ぐらいか。大体2割程度であると、ある専門誌で記載されていたのを見たが、今回の対象でもかなり規制されており(はがきを持参したもの)、真のリスクコミュニケーションと言えるのか。形ばかりのものと思えない。行政が安全だと言っても、安心の科学的根拠の説明が不充分である。
10	「20ヶ月以下の月齢牛から今の技術ではBSE感染は見つからないから、検査しても意味がないので、国としては義務化しないことにした」ことは理解できたが、にも拘らず、地方自治体が検査したいとした場合は費用を補助するというのは矛盾する。自治体によりバラバラの対応になると消費者の不安をあおる。
11	20ヶ月齢以下のリスク率が極めて少ない事や技術的にむずかしい事は理解した。しかし、「当面、各自治体が全頭検査をするのであれば、補助金を出す」という対応については、余りに曖昧で理解できない。この事は仮にアメリカ牛が輸入再開された場合、市場に混乱を招き、消費者の立場からすれば、売られている牛肉に検査済と非検査のものが存在し、偽装表示や混入物もあり(リース、味付けなど知らない間に牛肉を使った食物が多い)、より不安になる。「～」以上はリスクが小さいので検査をしない、又は「～」以下は検査をするという取扱いが日本の基準をキチンと出し、輸入先にも求めて欲しい。食の安全は外交手段ではない。又、特定部位の除去についても同等の事を求めるのか。
12	米国の圧力(業界の考え方)に負けない消費者優先の政策が必要であり、国内農業の発展につながるよう、飼料作物の作付け等を増加させるような政策も望む。
13	責任ある人からきちんと考え方を解りやすく話をしていただいたので、とても良かったと思います。ありがとうございました。
14	科学的な方法で安全(又は安心)を訴える事は必要で、今までの努力を評価しますが、マスコミ関係者に対する対応努力を更に進めて頂きたいと思います(3年前のマスコミは狂乱状態でBSE問題を扇動した)。
15	科学的に納得できる安全をお願いします。
16	意見交換会なので質問者に対して回答すれば良いので、質問者が多いので、司会者があまりしゃべらず意見交換した方が時間も短縮されるので、進め方としてはあまり良くなかったと思う。司会者しゃべりすぎ。何か中途半端で終了した様な気がする。
17	国内の外食産業にとっては、国産牛と米国牛肉はそろってはじめて生きてくる大切な武器のはずです。国内の現在の需給バランスは決して取れているのではなく、高騰する国産牛から消費者が手を引いているだけ。米国产を早く引き入れて欲しいという業界もあるのです。
18	BSEのことに関しては消費者は防ぎようがありません。本日いろいろお話を聞かせていただき、ある程度安心できました。今後も食の安全を第一に、BSE対策をしっかりとすすめていただきたいと思います。

前橋2/3

No.	ご意見・ご感想
19	・日本人がEUや米国へ旅行する事に対するリスクはどの程度か？・リスクがあるなら危険勧告をすべきではないか？・もし、BSE対策が国民の安全のためではなく、安心という付加価値を高めるために行っているなら、付加価値は生産者なり、販売者が独自の創意工夫で行うべきであり、行政がお金を出すのは理解できない。→もしBSE対策をEU並みの国際標準でやれば、もっと費用や検査員の人件費など多額の費用を節約できるのではないか？
20	一般の消費者は事実を認識していない者が大部分である為、広報活動をしっかりやっていただきたい。
21	・肉骨粉の利用価値は？・代用は出来ないのか？・再利用手法(廃棄以外で)。
22	アメリカ牛の輸入再開に当っては、日本と同等以上の安全対策を要求し、それが確立されない限り、輸入禁止を継続するよう強く求めます。合わせて、加工食品の原料についても、すべての原産国表示を制度化することを求めます。
23	直前まで参加No. の入ったハガキが届かなかった。他の方の意見が聞けて良かった。
24	外来語、専門語についての解説がないため、それらの説明がほしかった。
25	初めてこのような席に参加させていただきました。一主婦です。パネリストの方々が皆、早口で、聞きとりにくかったです。時間の関係もあるのですが、もう少しゆっくりお話いただくと、助かります。
26	専門的な言葉が多くなってしまうと、何の話だかわからなくなってしまいそう。もう少し説明してほしい。
27	20ヶ月以下は発見できないから検査しないのではなく、より良い検査方法の確立に努力していただきたい。今の時期に今回の様な事の実施は、アメリカからの輸入再開に向けて準備をしているように見えます。輸入再開時には、もっときちんとした説明会を実施して下さい。
28	食品安全委員会というとBSE対策といわれていますが、それ以外の活動は何かあるのですか。
29	なんか一方的説明という感じです。⇒意見交換でないような感じです。学者、役人が考えている以上に、現場ですごい事をやってる事があります。ですので現場で話を聞けるような「内部告発的」な事もやらないと、きっと安全は守れません。⇒最終的には検査しかないのと思います。時間がないよ、交換時間が。意見と説明が「かみあわない」。悪い事をしようと思わなければ安全です。でもお金もうけになると悪い事をします。問題はそこだと思います。
30	食品安全委員会にはスピードを求めたい。「いつまでにどうしたい」がないと思います。全国でリスクコミュニケーションをやっても、食の安全は守れない！
31	SRMをしっかり除去し、全頭検査をやめて、海外にもSRMの除去をしっかりやっていただければ、輸入再開してもいいのではないのでしょうか？
32	今後も北関東エリアで、頻繁にこのような会を開催いただきたく思います。また、質問に対して、分かりやすくご回答いただき、ありがとうございました。
33	・牛肉が99%の安全率と他の食品とのリスク評価が知りたい。・牛肉をどうすれば安全に食するかが重要で、リスクだけを言うのは一方的過ぎる。・魚の水銀の蓄積等、他の食品のリスクと公平に牛肉のリスク評価をしなければ片手落ち。
34	全頭検査はあと数年続けるべきだ。BSEの潜伏期間は2～8年といわれている。肉骨粉を使った餌が禁止されたのが2001年10月からであり、それまで肉骨粉の混じった餌が出回っていた可能性があるから、又死亡牛検査も4月から始まったばかりだ。と畜解体時のSRM対策は万全でないといっている。これを補うのが全頭検査だと認識している。
35	県下69市町村全てで組織されている食生活改善推進員の機動力を活用して、県下のすみずみまでの草の根運動で、食生活改善運動を行っています。現在、食育ということで親子の食育等を展開中です。その中で「安心安全」な食材と「地産地消」で子どもたちに安心して食べられる物として、なるべく良い食材と願っております。この様ですので、しっかりとした対策をお願いしたいと思います。皆さんに安心して提供したいと思いますので。乱筆、乱文にて失礼いたします。
36	◎人と同じく牛も代素性履歴がきちんとわかるよう管理しておく必要があると思いました。◎個体識別番号の2年間猶予、もう少し短縮できないものなののでしょうか？◎ヤコブ病ショックでした。データが少ない、潜伏期間が長い、不安です。
37	リスク評価とリスク管理に基づいたBSE対策の話はよくわかりました。ありがとうございます。今日は、BSE対策による「消費動向への影響」や「牛肉流通」への影響についての意見を交換する場ではないですね。あくまでも、科学と政策の話をする場です。願わくば、この政策による消費マインド・流通への影響を議論する場を設けて頂けたらうれしいです。

前橋3/3

No.	ご意見・ご感想
38	講演内容については、もっと平易な言葉でほしかった。もちろん、私ども一般の者にも分かるような内容にはしているの だろうけど…。もうちょっとだけでいいので、難しい内容を易しい言葉で。
39	段階をへた制限時間内の為、全てにおいて質問や回答に明確には100%どころではなく、中間報告までの話で、対策 や安全のための推進や強化を、国の予算の中で難しいところも多々あると思いますが、多くの消費者のために各省頑 張ってほしいと思います。
40	・アメリカ大統領選挙と米国産牛肉の再開が重なり、政治問題化したように思う。なぜ今、見直すのか、タイミングは悪 い。・なぜ世界一の安全対策ができたのに、それを誇りとして見直すことはないのではないか。食品全体の安心安全行 政がすすめられている中で、信頼できなくなるのではないか。
41	アメリカからの輸入の再開を推進する立場の人間だけを講演者とするものを、『意見交換』と呼ぶ無神経さは、行政らし いと思いました。
42	BSEの問題は、検査体制等理解をしてもらう努力が報道関係者に打ち消されている。人に感染する確立がやや低い事 がわかりよかった。

大津1/2

No	ご意見・ご感想
1	資料・参考の文を読むことでB. S. E. 牛海綿状脳症をみじかに深く解かると思います。アメリカ牛よりオーストラリア牛が危険性が少ないと感じ(牧草を食べている)購入している。今日は理解がより深まり勉強になりました。有難うございました。
2	時間の関係だと思いますが、三氏の講演説明については、テキストを読めばわかる事が多く、新しい知識は得られなかった。説明が早過ぎてテキストをめくるのにおわれた。家でゆっくり読みたいと思います。
3	各方面の方の意見を聞くことが出来て大変よかった。BSEの問題の陰にどうしても米国が映る。消費者の選択が自由に出来るようにトレーサビリティをもっともっと広くあればと思う。外食メニューにも加工食品でも…産××国産があればと思う。
4	①SRM除去、検査方法についてはスケジュールや内容を示してほしい。②米国への「日本と同等の水準」という中身をより具体的にタンポしてほしい。
5	リスクを消費者にお知らせすることの問題点はまだまだ大きい。科学的に安全といわれても安心できない。これが目に見えないBSEの問題であり、万全の上にも万全をつくすのが行政の仕事です。
6	もう少し突っ込んだ解答がほしかった。あの解答内容は資料のとおりであった。
7	食の安全は必要であると思っている。
8	説明できていない。SRM除去対策は現状不十分(また強化するというが具体策がない。→特にピッキング禁止(厚労省))。全頭検査と相補って安全、安心感を消費者に与えていたのは明らか。誰が見てもアメリカ産牛肉の輸入のために中間とりまとめが利用され、諮問がなされたと理解するだろう。→リスクコミュニケーションでなく、施策説明会ですね。だめだこりゃ。
9	米国においてBSEが発生してすぐ港に着岸している牛肉及び航海上にいる牛肉については禁止したが、国内在庫については一切野ばなしになっている。その結果、在庫をたくさんもっていたメーカー(一部)は、ぼろもうけをしている。結果的に消費者(販売者)は非常に高い牛肉(米国産)を買わされている。あまりにも片手おちではないのか。
10	(1)専門用語が多く、わかりづらい。説明している人はかわっているが、聞いている方は、よくわかっていない。(2)もっと安全性をアピールすべきである。先生たちの説明は、消費者にとって危険であるように聞こえる。
11	・もう少し質疑・意見交換の時間をとって頂きたかった。・滋賀県での開催は初めて(?)だと思いますが、今後も続けて頂きたい。開催して頂いて良かったと思います。・安全性の確保(感染経路・発症メカニズムが不明)がされてないままに全頭検査を廃止することは、消費者に対して不誠実だと思います。費用対効果や結論ありきの進め方とうけとれますがー。・20ヶ月で解禁されたとしてもSRM除去・月齢チェックなどは別問題としてきちんと確実に対応して下さい！！
12	BSE発症牛の感染力について眼球脳、背根神経節、脊髄、回腸遠位部位の除去を十分に行えば、安全率は0.0001と聞き、それを完全に行なえば輸入再開して欲しい。現実に見学をしても日本以上に除去され、より衛生的であります。
13	食品に関して少しでも不安があれば、安全性が確認されるまで危険とみなし慎重に扱って欲しい。国策は国民第一でして欲しい。
14	検査の改善をすすめるといわれた厚労省の〇〇氏へ、是非検査の緩和ではなく、研究の推進をお願いしたいと思います。
15	人間のモラルを信用するしかないが、これまでも散々裏切られてきたので、特に商人(商社)→(どんな物でも売って金にする)への監視を強化してほしい。
16	USA牛の輸入再開されても、不安な間は表示により選択できるが、肉を原料とした加工品は選択できないため、牛肉来のものを使用するものについては全て表示されることを強く望みます。
17	今回も含め、リスコミには市民も参加されているのであるが、その市民(特に消費者団体)は、サイレントマジョリティーの意見を代弁しているとは言えない。本当の意味でリスコミとなっていない。道は険しい。
18	条件整備が進んでいない中で、厚生労働省が「20ヶ月以下検査必要なし」のしもんは、何か奇異ですね。
19	細かい説明御苦勞様です。牛肉の安全の方向のみにいってます。何故ですか？なんでも総て安全と云る物はありません。一定レベルで消費者も結を出さないといけないのですと思えます。もっと人間に対する感染度、又、病名、確率等を具体的に説明すべきです。木々を見て森を視るのを日本人は忘れて来ているのではないですか。
20	今、日本人に問われている大切なことだと思います。米国产牛肉を日本人は食べなければ良い。大切な食べ物を貴重に扱われるべきではないでしょうか？完全に安心できるようになるまで輸入しなければよい。
21	きめ細かく意見交換会をしてほしい。

大津2/2

No	ご意見・ご感想
22	<p>食品安全委員会が発足して1年余りになりますが、任務である食品リスク評価機能を充分発揮していただきたく思います。BSEを始め、野菜産地偽装等問題が山積している現在、評価が業者サイトに片寄り、追認に過ぎない結果にならないようお願い度く。</p>
23	<p>・国内の食肉業界の不正事件が続出している中で、特に輸入肉の安全・安心について、もっと国の取締りを強化してほしい。業界指導の徹底を望む。・生体でのBSE検査方法の開発を早急に研究してほしい。</p>
24	<p>随分、金をかけて進行させているなーと感じている。無駄でもやらなければならないと思う反面、無意味とも思う。</p>
25	<p>・内容の重なりが多い(3報告での)・発諸の話がまとまっていない→すべてに答えなくともよい。・学習して関心が一部で高いということがよくわかった。・結果ありきの手続のためのリスクコミュニケーションとならないようにしてほしい。いろいろと総合的にやって、相対的安全性が保持出来ることが、出来ていることが理解出来た。</p>
26	<p>言葉が聞き取りにくい部分があった。国としての立場等理解できるが、具体的には安心な物は信頼するしかないのか？国産をもっと大切にしなければ。</p>
27	<p>このリスクコミュニケーションの目的(どこに視点を置いてやっているのか)があまりはっきりわからなかった。この意見がどの程度反映されるのか。消費者の混乱をさけるには、ぜひ今後も全頭検査を。</p>
28	<p>リスコミに参加して、反対に不安が募ってしまった。安心して牛肉を食べられるということに関して、もっと視点をしぼったリスコミにしてほしい。パブリックコメントが、どこまでいかされるかが心配。BSEに振りまわされている現状ではあるが、今後の他にも発生しうる感染対策を、日本国としてきっちりしてほしい。</p>
29	<p>食品安全委員会の中間のまとめは、消費者の意見や要望とかけはなれている。この委員会のメンバーは何を考えているのか理解できない。米国からの輸入は絶対反対です。安全が100%確保できるまでは輸入すべきではないと思う。米国に対しては飼料規制が甘いし、検査方法についても強く申し入れをすべきです。今回のリスクコミュニケーションを各地で開催しているが、何を目的に行っているのですか。米国牛を早期に輸入しようとしていることが明らかです。</p>
30	<p>日本のBSE対策については、ある程度万全を期したことがわかるが、今後、アメリカを含め輸入牛の国内の検査基準と同様に行われるよう強く求めます。外圧に負けるような政策にならないよう宜しくお願いします。早期に日米間で協議の上、早期に輸入が再開されるようになればいいと思いますが、国民が納得する形に限る。</p>
31	<p>厚労省の説明の最初に、検査は「安心して食べてもらうために」行ったと言われたことに期待する。今後もその姿勢をつらぬいてほしい。輸入牛に関しても安易な妥協はしないで頂きたい。</p>
32	<p>内閣府とは別に、農水、厚生両省はすでに伝えられているように、20ヶ月齢以下の牛を検査対象から外すことを諮問しているが、こうした農水、厚生両省の米国産肉輸入開禁を目的とした結論のもとに諮問されたことに、極めて大きな異論をもたざるをえない。こうした圧力を科学の力によって、まさに科学の目ではねかえし、国民の食の安全を守られるよう尽力されることを強く希望し、期待するものです。</p>
33	<p>今後もこのような場を。常に新しい情報を基に意見交換会をしてほしい。</p>
34	<p>食品の安全を確保することが大前提として無ければならないが、食品は100%安全を求めることは理解できるが、安心までを確立することは難しい。BSEの全頭検査は私自身不必要だと思っています。検査方法の質を高める努力は必要であるが、あらゆる危害物質についてBSEと同等のリスク対応がなされているか、極めて疑問であります。BSEよりもウェイトを置くべき危害物質がBSEで抽象化されて、他の食品については同レベルの危害管理がされていない。BSEにいくら金をつぎ込めば良いのか限界もある。ポチポチ安心確保から安全確立に向うべきだ。</p>
35	<p>食品に対する信頼がゆらいでいる時、食品安全委員会の活躍を大いに期待します。</p>
36	<p>専門用語が多すぎて、説明がよく分かりませんでした。</p>
37	<p>今後も全頭検査は是非ともつづけていただき、良き食の安全に努力される様をお願いいたします。</p>

No.	ご意見・ご感想
1	普及活動は県の食の安全推進本部が中心となって実施されているので、さらにこの安全委員会との交流を深めて科学的根拠に基づいた広報活動を行ってほしい。また、今国会で成立させたい「食育基本法」により、その普及を図って食品の安全と安心を国民が実感できるようにしたい。
2	厚労省、農水省の諮問は、中間とりまとめを都合よく利用したものである。中間とりまとめは、21ヶ月以上で見つかる可能性のみ述べており、20ヶ月未満で見つからないとか、検査の必要がないとかの見解はない。→出ているかもしれない。20ヶ月未満はと畜頭数割合も少ないことから、全頭検査を継続する方が消費者の理解が得られやすい。そもそも、13,10,18の全頭検査については全国自治体が反対したのに、国は踏み切った経緯がある。
3	今後もいろいろなことをテーマにして意見交換会を開いてほしいです。
4	BSEがねずみ算的には増えないかもしれませんが、人から人への感染を潜伏期も含めて考えますと、輸血という医療に欠かせない行為による感染を視野に入れて安全性が十分に担保される必要があると思います。また、消費者を主軸に置いた行政であることをいつまでも堅持していただきたいと心よりお願い申し上げます。
5	主婦の立場で参加しましたが、思った以上に平易に説明されているようでBSEについて理解が深まりました。
6	マスコミなどに正しい情報を発信してもらおう働きかけを強めてほしい。(〇〇から輸入再開など消費者が関心を持つ報道ばかりが専攻しないように)
7	行政は消費者であると思って仕事をしているのではないのでしょうか 全頭検査を見直すのは何故かよく分からない外国がこうだから日本も外国に合わせなければならないという意味が理解できません。
8	・主婦としては閉会時間が少し遅いので最後まで残るのが難しいです。・米国牛に合わせた安全対策にならないよう国民の健康を守る立場で協議していただきたいと思っています。
9	もっとやさしい言葉を使わないと一般の市民は参加しないんじゃないでしょうか。「リスクコミュニケーション」という言葉を理解して※一般市民は少ないので、今回の課題であつまるのは、意識の高い消費者や行政関係者だけになると思います。
10	消費者代表の選考のあり方について、どのように選考されたのか。
11	英国等への旅行者(当時)のリスク管理はどのように評価されているのか。
12	早く米国牛を輸入して欲しい。安全の名の基できれいごとばかりでは生きてゆけない。国産牛を保護しすぎではないか？無駄な税金の使いすぎである。
13	質問者もさまざまな人がいます。
14	BSEの説明時間があまりにも短く、こんな重要なテーマを早く流しすぎた感がある。会場での質問時間が長かったと思う。
15	報告が時間の関係もあり、急がれたことは残念。十分に行政関係の考え方を聞くにはもう少し時間をかけて丁寧な説明がほしい。
16	やはりBSE問題は消費者にとってもとても関心があります。安全・安心な食品を提供してくださる努力はとても良いことだと思います。でも、それを続けていく事、それ以上を求めていく事を続けていただきたいと思っています。
17	・消費者の情報をうる手段は主としてマスコミ誌を通じてである。この点においてマスコミ誌へのPRの内容検討を十分に行って上でPRすべきである。このようなことから「リスクコミュニケーション」ディスカッションにマスコミ側の出席を求めてはどうか。(パネラーにマスコミを追加!!)・行政側も「正しい情報」をホームページだけでなく、全国紙などにしてはどうか。健食購買者が多く、インターネットの利用はむずかしいのではないのでしょうか。
18	時間のこともあり講演の口調が早く聞き取りにくかった。安全安心で安価な牛肉が食べられる様に努力していただきたいです。
19	テーマをもう少し絞り込むべき？厚生労働省の方へ：管理栄養士養成過程で、今回のような話をしようとしたとき、食品流通、生産に関する基礎知識が全くないことに気がつきます。栄養、健康のみに偏ったカリキュラムの見直しをお願いします。
20	米国での2頭目のBSE疑い牛の発生、遺伝子組換作物の育成・・・食の安全性等の問題がまだまだ山積しているように思います。今回BSEについては議論の一端をきかせていただきましたが、いざ、科学的な説明をするとなると「？」の部分が出てくるものと思います。これからもこのような機会が多くあり参加できる機会があればよいと考えます。
21	当局のご説明の時間を少なくして、意見交換会の時間を2時間以上確保して頂きたいと思っています。
22	日本国内に厳しい基準を設ける事(全頭検査)が得策なのか、エキセントリックになりすぎていないか、肉骨粉使用以前の飼育方法に戻し、SRM部位を完全に除去することで大きく前進すると思う。いずれにせよ、早々に着地点を見出し、折り合いをつけていただきたいと思う。

岡山2/2

No.	ご意見・ご感想
23	あまりにミクロ的な考え方で、BSEについては確立が1億2000万分の1の議論は意味があるのでしょうか。ゼロリスクではないということは安全は最終的に個人が負うべきではないでしょうか。アメリカもイギリスも親の子に対する思いは一緒だと思います。世界基準で守ってもらいたいと思う。
24	意見交換に参加できずに申し訳ありませんでした。
25	情報がありふれている中で、どの情報が正しいのか消費者自身が判断するのは難しいが、公的機関の情報を参考にしたいと欲しいと言われても、情報が出るのが遅いと思うので、素早い対応をお願いしたいです。
26	資料の説明・・資料を読まれただけのように思います。事前資料としてあらかじめいただけて、当日には※※のお話がきければと。会も単発ではなく継続的にあればいいですね。ごろう様でした。
27	健康食品についてはつい簡単にバランスのとれるものとして、摂取してしまいがちですが、やはりその前に気をつけて使用すること。また、いろんな健康食品が逆に手に入りやすいので、そういったものにはだまされないように気をつけてないといけないことなど再確認できたことが、今日のお話でよく伝わりました。ありがとうございました。
28	御苦労様です。ガンバッテ下さい。
29	消費者として参加したい思いは多くあるとおもいますが、時間的に最終までというのは今回はとても厳しいです。参加しやすい配慮してほしい。安全安心のためにはやはり全頭検査と危険部位の除去という二重の対象があってこそ「牛肉を食べよう」という気持ちになります。これまでがそうだったように・・・
30	米国からの輸入に関心が向いている時にもう少し米国の管理、と殺等詳しく聞きたい。今日の話ではますます米国の牛は安心できない。米国の牛についても食品安全委員会で調査し、輸入開始の時期も慎重に検討してほしい。次回もし意見交換会を開く場合は新聞全国紙で広報してください。
31	国内の検査においてもやはり現状のままをお願いしたい。今は月齢の低い牛でも出ているのだから、出ないとはいえないし、今後検査法がもっと良くなればムダでなくなると思う。輸入に関しても今の検査方法で対応して欲しい。